

どうする？

どうなる？

公共施設の将来のあり方を考える市民対話 ～第2回～

〈山里・江平地区〉



◆対話の進めかた

第1回

令和4年7月2日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について
- 施設配置の市の基本的な考え方について



第2回

令和4年8月21日(日)

- 山里・江平地区の公共施設の配置の考え方
- 第1回市民対話で出されたご意見への回答
- 対話のまとめ

地区に住んでいるからこそ
知っている課題や実態
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

本日の流れ

- ・ 前回の振り返り
山里・江平地区の公共施設の配置の考え方
前回いただいたご意見等への回答 } 30分
- ・ グループでの話し合い及び意見のとりまとめ…40分
- ・ 発表・まとめ…40分

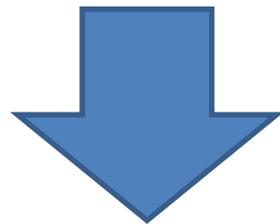
前回の ふいかえい





コロナ禍を契機として.....

- ・テレワークの普及
- ・オンライン会議の活用
- ・コンビニで住民票等の取得
- ・スマートフォンなどを使用した電子納税 etc....



公共施設の使い方の見直し



「暮らしやすいまち」であり続ける

6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方（つづき）

その他

☆施設の特異性や、サービスの機動性確保のため、本庁舎から分散して行政事務を行う施設を配置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。また、余剰スペースが生じている施設や、施設の集約化が可能な施設があることから、施設の複合化や統合を行うことにより、用途全体の施設規模の縮小を図ります。



★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていた内容について、班ごとに発表していただきました。

- 1班**
 - ・自治会公民館をバリアフリー化するための、市の支援はないのか、
 - ・市民対話のようなワークショップを開催するにしても、なかなか情報が市民へ伝わっていないのではないかと。
 - ・旧江平中学校の活用についても考える必要がある。
 - ・人口推計において、将来的な山里・江平地区の人口は減減だということであれば、公共施設の数はそのままでよいのではないかと。
- 2班**
 - ・ふれあいセンターでは飲食ができないなど利用の制約があり、自治会集会所と違い自由に使うことができないと感じている。市においてルールを変えることはできないか。
 - ・高尾校区のコミュニティ協議会が設立され、現任、本部を山里地区ふれあいセンターに仮置きしているが、いつまでも仮置きできるものではない。他に設置場所はないのか。
- 3班**
 - ・江平地区の下の方は公共施設があり栄えていると思うが、高台の方は集まる場所がなく、人の集がりもだんだん薄くなってきていると思うため、人が集まれる場所があればよいと思う。
 - ・旧江平中学校跡地の活用策が何も決まっていなければ、消防施設、公民館、スポーツに活用できる施設など、まちおこしの一環として旧江平中学校を活用してもらいたい。

【議評】（アドバイザー：東京理科大学 都市環境学部 巖崎 亮 先生）

- 公共施設のあり方や再編を考えると、往々にして「公共施設が減る」という観念が先行してしまいます。実際、市の財政は厳しいもので、財政を健全にするには公共施設の床面積を抑えたい、と説明がなされますが、私はそれは少し違うと思っています。結果的に量的な調整はあるかもしれませんが、このまちをどうしていくのか、という『将来のまちのビジョン』を皆さんと共有してこそ、財政という制約の中でも、そのビジョン実現に向けて既存の公共施設をどう当てはめていくべきか、という話ができるはず。そういった『ビジョン』を描くための素材をいただいたのが、今日の成果と言えるでしょう。



次回の対話では・・・

長崎市から個別の公共施設の配置の考え方を示したうえで、その考え方に對して、地域にお住まいの方からそのわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思います。

第2回 日時：令和4年8月21日（日）10：00～12：00
場所：山里地区ふれあいセンター 2階 第1研修室

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（直通：095-829-1412）

開催報告書

**山里・江平地区の
公共施設の
配置の考え方**



**前回いただいた
ご意見・ご提案への
回答**



市民利用型施設

(市民の皆さんが普段の生活の中で利用する施設)

コミュニティ活動施設

市民に最も身近な場所でサービスを提供する施設は、概ね小学校区ごとに配置

広いスペースや特定の設備が必要な施設は概ね中学校区ごとに配置

概ね600㎡

コミュニティ活動施設

山里中学校区

山里小学校区

高尾小学校区

●大橋地域
消防コミュニティセンター
※北消防署に併設

●山里地区ふれあいセンター

小学校区

中学校区

複数地区

旧江平中学校区

坂本小学校区

銭座小学校区

●老人福祉センター
あじさい荘

●銭座地区
コミュニティセンター

●浦上駅前ふれあいセンター

小学校区

中学校区

複数地区

コミュニティ活動施設



築年数

築19年

延床面積

661m²

利用者数

23,741人／年間

山里地区ふれあいセンター

地域のみなさんがコミュニティ活動に利用できる施設は今後
も必要

現在の施設を**適正に管理**する

コミュニティ活動施設



築年数

築19年

延床面積

661m²

利用者数

23,741人／年間

山里地区ふれあいセンター

地域に限らず、広い範囲からの利用がある



現在の施設を
適正に管理

12

★長崎市の公共施設の目標使用年数は原則として65年

適正管理とは？

◎目標使用年数(65年)まで安全に使用できるように
適切な維持管理(施設の点検、設備機器の運転・点検・保守、清掃、修繕など)を行うこと！

山里地区ふれあいセンターに関するご意見

前回出された主なご意見

ふれあいセンターでは、飲食ができないなど利用の制約があるため、市においてルールを変更することはできないか。

市からの回答

ふれあいセンターにおいて、宴会などの飲食を主目的とした利用は認めていませんが、会合の際の軽食など、一般常識の範囲内での催しに付随した飲食などは施設の維持管理上支障のない範囲で認めています。

コミュニティ活動施設

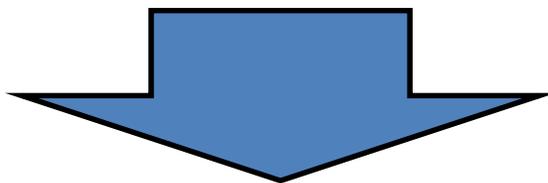
築年数／利用者数(年間)



浦上駅前ふれあいセンター
14年／20,030人



銭座地区コミュニティセンター
17年／19,491人



現在の施設を**適正に管理**する

コミュニティ活動施設



老人福祉センターあじさい荘

築年数

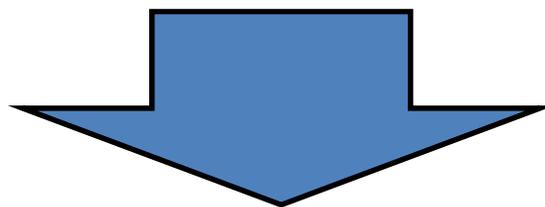
築53年

延床面積

862m²

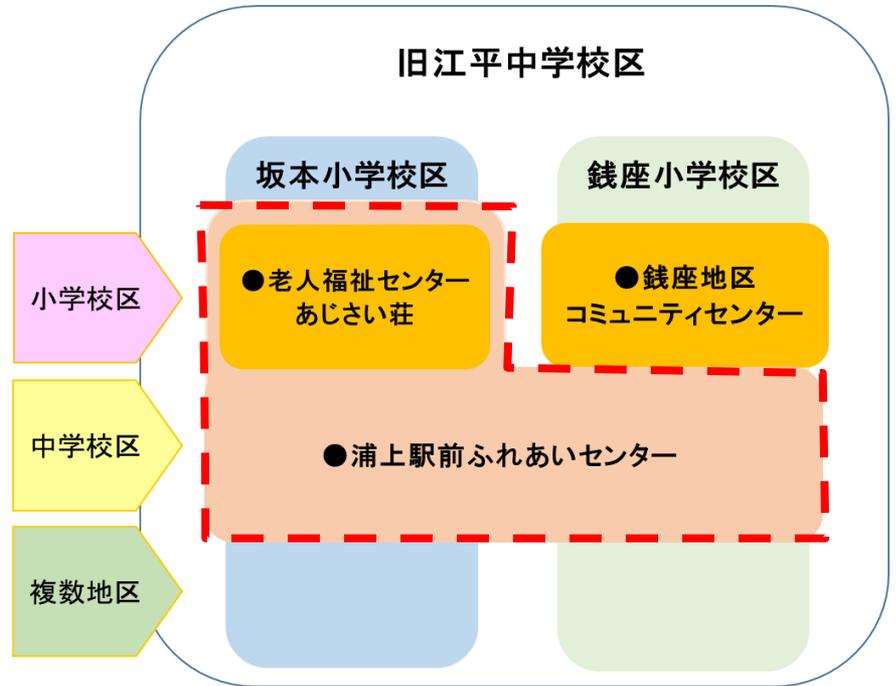
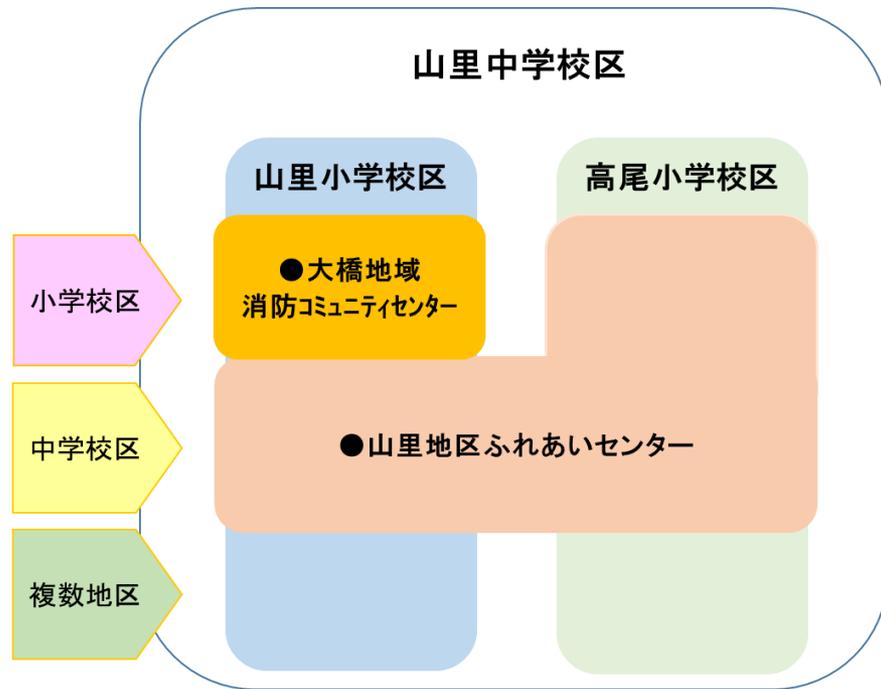
利用者数

10,036人／年間



将来的に高齢者専用施設としての用途は廃止する

コミュニティ活動施設



学校

築年数／児童・生徒数



高尾小学校

築64年／463人



山里小学校

築33年／668人



山里中学校

築62年／492人



坂本小学校

築66年／213人



銭座小学校

築55年／146人

現在の施設を
適正に管理する

放課後児童クラブ

築年数／月平均児童数



**キラキラたかお／もいもいたかお
(高尾小)**
築54年／48人

わくわくたかお(高尾小)
築12年／42人

やまざとクラブ(山里小)
築14年／33人

やまざとキッズハウス(山里小)
築14年／37人



おおくす児童クラブ(坂本小)
築66年／38人

子どもたちの放課後等における
安全・安心な居場所の確保を図
るため、**適正に配置**する

子育て関連施設



築年数

築30年

長崎インクルージョン子育て支援センター『にこっと』

- ・子育てに関する相談
- ・保護者同士の交流
- ・市内全域からの利用を対象に
発達障害支援に特化した
子育て支援センターとして配置



現在の施設をこれからも活用していただく

保健施設



築年数／利用者数(年)

築年数

築30年

利用者数

原子爆弾被爆者健康管理センター 36,054人／年間

★建物の名称:もいまちハートセンター

6F～7F及び8Fの一部

健康診断は継続して実施していくが、**公営及び民営の医療機関でも実施可能**

将来的には、**施設は廃止する**

障害者支援施設



障害福祉センター

築年数／利用者数(年)

築年数

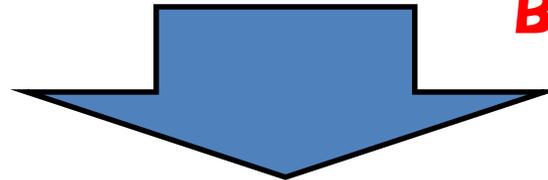
築30年

利用者数

103,440人／年間

★建物の名称:もりまちハートセンター

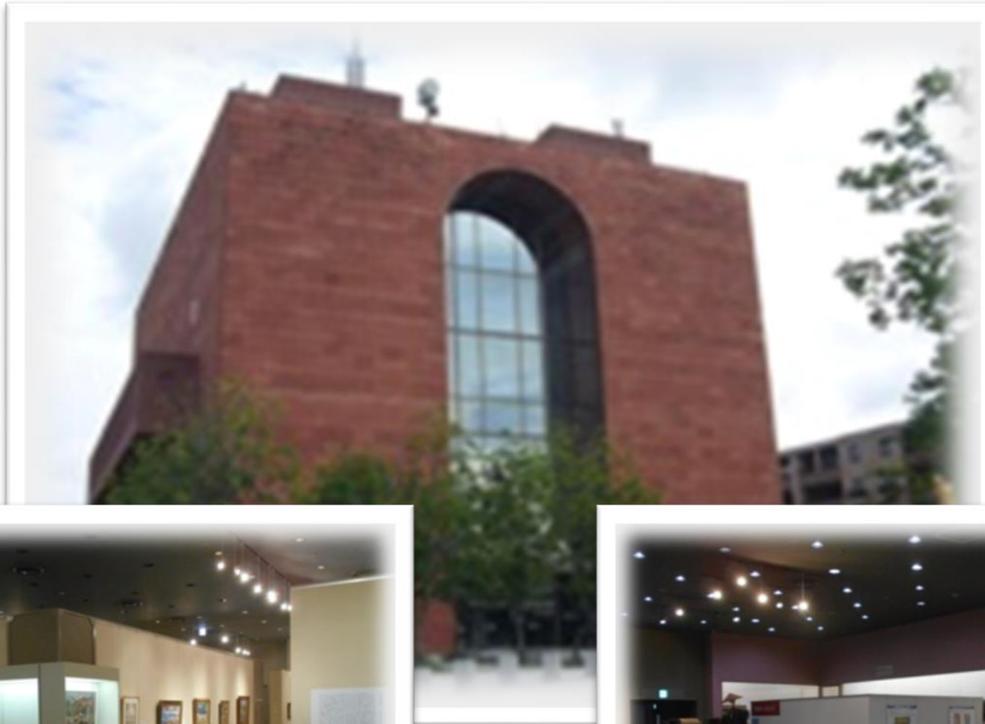
B1F～5F及び8Fの一部



同じ建物に設置している『原子爆弾被爆者健康管理センター』の廃止等に合わせ、**発達障害児の療育機能の拡充を検討する**

博物館等

築年数／年間利用者数



野口彌太郎記念美術館

築40年／1,125人



歴史民俗資料館

築40年／7,409人

博物館等

築年数／年間利用者数



野口彌太郎記念美術館

築40年／1,125人



旧長崎英国領事館内（大浦町）へ
機能を移転する



歴史民俗資料館

築40年／7,409人



- ・野口彌太郎記念美術館が旧長崎英国領事館に移転後、1階に移転する
- ・平和会館が平和目的に特化して使用することとなった場合には、配置場所を検討する

平和施設

築年数／年間利用者数



平和会館ホール

築40年／12,983人



長崎市永井隆記念館

築22年／62,310人



妃己堂

築74年／一人



原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂

築27年／一人



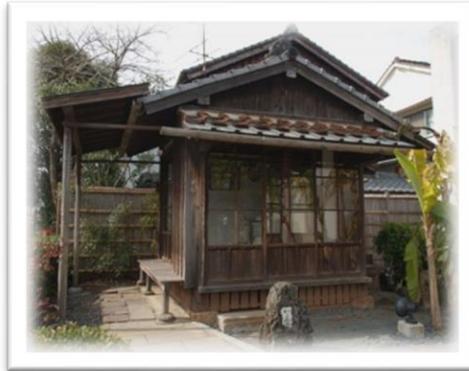
長崎原爆資料館

築26年／236,310人

平和施設



長崎市永井隆記念館



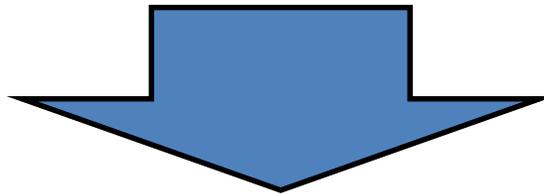
妃己堂



長崎原爆資料館



原子爆弾無縁死没者
追悼祈念堂



平和施設は、被爆の実相を伝え、核兵器廃絶を訴える施設として、また、被爆の実相と長崎市民の平和の願いを広く国内外に伝えていくことから必要なため、**適正に管理**していく。

平和施設



平和会館ホール

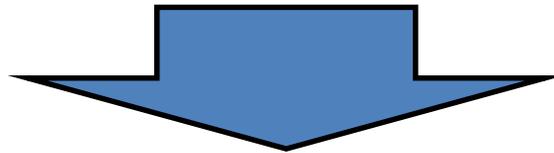
築年数／年間利用者数

築年数

築40年

利用者数

12,983人／年間



新たな文化施設の整備後に舞台機能の廃止など
、利用機能を縮小する

ホール型施設



築年数／年間利用者数

築年数

築24年

利用者数

69,250人／年間

長崎ブロックホール



- ・ 利便性の高い現在の場所に **継続して配置**する
- ・ 新たな文化施設の整備後に、国際会議場は **音楽ホールへの改修を検討**する
- ・ 1階交流スペース(旧レストラン)に **子育て支援センター**が入る

都市基盤施設

(都市のさまざまな活動を
支える基盤となる施設)

市営駐車場

供用開始年月／年間利用台数



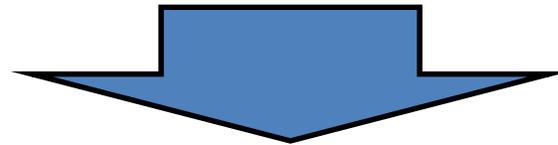
茂里町駐車場

令和3年4月／15,646台



浦上駅二輪車等駐車場

令和4年2月／一台



現在の施設を**適正に管理**する

市営住宅

築年数／棟数／管理戸数



シュモ一住宅

築45年／1棟／40戸



三芳住宅

築26年／5棟／93戸



若葉住宅

築30年／1棟／58戸



江平住宅

築20年／1棟／10戸



銭座住宅

築43年／2棟／32戸

- ・現在の施設を**適正に管理**する
- ・建替えなどを行う際には、
適正な規模へ見直しを行う

公用施設

(行政事務執行のための施設)

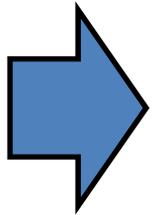
消防署



築年数

築20年

北消防署



現在の施設を**適正に管理**する

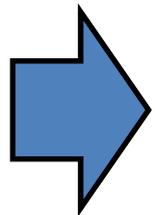
消防署



築年数

築44年

北消防署浦上出張所



主要幹線道路の整備状況を見ながら、
機能・配置の見直しを行う

その他

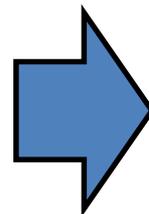


長崎市保健環境試験所

築年数

築32年

今後行政において、**保健衛生に係る試験や検査を行う必要がある**



現在の施設を
適正に管理する

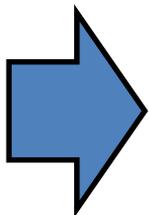
その他



築年数

築39年

動物愛護管理センター

- 
- ・令和6年度に長崎市保健環境試験所の建物へ移転し、現在の建物は解体する
 - ・移転後も、施設のあるべき適正な規模や場所については、継続して検討する

その他のご意見

その他のご意見①

前回出された主なご意見

自治会公民館については、バリアフリー化されていないものがあるが、市の補助金等の支援はないか？

市からの回答

自治会所有の公民館のバリアフリー化については、『**長崎市自治会集会所建設奨励費補助金**』の補助対象となるものもあります。詳しくは自治振興課にお尋ねください。

その他のご意見②

前回出された主なご意見

人口推計において、将来的な山里・江平地区の人口は微減ということであれば、公共施設の数はそのままでよいのではないか？

市からの回答

長崎市は、もともと税収基盤が脆弱なうえ、今後の15～64歳の生産年齢人口の大幅な減少による税収の落ち込みや、高齢化社会への対応に伴う社会保障費の増大など、引き続き、厳しい財政状況が続くことが予測されています。今後、安定した行政サービスを提供し続けるためには、管理の効率化にとどまらず、公共施設の適正配置を進め、活用方法を多様化させることなどにより、既存の公共施設を有効活用し、行政サービスの供給体制を最適化していくことが求められるため、長崎市全体で取り組む必要があります。

その他のご意見③

前回出された主なご意見

市民対話を開催するにしても、なかなか情報が市民へ伝わっていないのではないか？

市からの回答

現在、自治会回覧をはじめ、市のホームページやSNS（Facebook）において、市民の皆さんへ市民対話開催の周知を図っておりますが、今後についても、皆さんへ必要な情報が行き届くように、周知方法を検討していきたいと思っております。また、より良い周知方法があれば、ぜひ、ご意見をいただきたいと思いますと考えています。

その他のご意見④-1

前回出された主なご意見

- ① 避難所の担当市職員が来る前にでも布団等の備品が出せるようにしてほしい。

市からの回答

- ① 毛布については、適切に管理する必要があることから、避難所要員が現地到着後に必要な方に対して配布することとしており、避難所要員には迅速に避難所に向かうよう指導をしております。また、一部の避難所については、地域と連携した避難所の取り組みとして、避難所要員が到着するまでの間、避難所の開錠・開設・運営について地域の自治会等にご協力をいただいております。物品の配布についても協力内容に含まれているため、自治会の地域連携の取り組みへの参加についてもご検討いただければと思います。

その他のご意見④-2

前回出された主なご意見

- ② 避難所までの距離が遠く、アクセスが大変。
- ③ 体育館など硬い床の上での避難は大変なため、そのような避難所にエアーマットを常備しておく考えはないか？

市からの回答

- ② 長崎市では「原則として公共施設であること」、「概ね1km以内に指定避難所が配置されていないこと」など、避難所の指定基準に基づき避難所を指定しております。避難所まで距離がある場合は早めの避難行動をとることや、マイ避難所（安全な場所にある親戚や友人宅）などに避難することについてもご検討いただければと思います。
- ③ 避難所の床が板張りの施設については、ジョイントマットを備蓄しており、避難所開設時は必要に応じて貸出を行っておりますので、避難所要員にお声かけください。

その他のご意見⑤

前回出された主なご意見

- ・北消防署に併設されている「大橋地区コミュニティ消防センター」は、山里小学校区の住人であれば、地区の集会や催し物など、特段の制限を受けずに利用できる施設なのか？

市からの回答

- ・山里小学校区の住人であれば基本的に利用できます。利用に関しては、地域住民の会議、研修及び催物等を目的としたもので、利用人数が概ね5人以上であれば利用可能ですが、事前に許可が必要となります。なお、当該施設が災害時の避難場所として使用されるときなど、利用できない場合もありますので、利用を希望される場合は北消防署へご連絡をお願いします。

その他のご意見⑥

前回出された主なご意見

- 旧江平中学校のその後の活用はどうなっているのか？
- 跡地活用を進めていかなければならない。
- 活用策が決まるまでは、地域が盛り上がる使い方をしたい。
- 活用策が決まっていらないのであれば、消防施設、公民館、スポーツに活用できる施設など、まちおこしの一環として旧江平中学校を活用していただきたい。

市からの回答

- 旧江平中学校は敷地面積が約2万㎡と広大であり、容易に活用策が決定できない状況にありますが、企業誘致や新たな産業の創出につながるような跡地活用の可能性を含めて検討しています。

施設を造ってきた、
施設を使ってきた、
わたしたちが“今”
考えることが大切



●これからの流れ●

第1回 令和4年7月2日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について
- 施設配置の市の基本的な考え方について



第2回 令和4年8月21日(日)

- 山里・江平地区の公共施設の配置の考え方
- 第1回市民対話で出されたご意見への回答
- 対話のまとめ

取りまとめ

地区に住んでいるからこそ知っている課題や実態などの意見

長崎市

地区別計画の策定

(お知らせする機会を
設けたいと考えています)

